

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ヘリポート用誘導灯整備事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	09	01	05	02	62
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	ヘリコプターを保有・運用する防災機関	意図	有事の際のヘリコプターによる人員・物資の輸送のため、臨時ヘリポートにおける夜間の離発着を可能とする。
事業内容	臨時ヘリポート用の可搬式の誘導灯を整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市地域防災計画では臨時ヘリコプター離発着場が2か所指定されており、平成24年度に1式購入した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	災害予防について安全だと思う人の割合		43	49.50	%	↑↑↑
②								
③								
④								
指標で表すことができない定性的な成果	災害時の夜間にもヘリの離発着が可能となり、市民の安心・安全に寄与する。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成24、25年度にそれぞれ1セット、計2セット整備した。 購入に際し、消防職員に設置訓練を実施した。			
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			2,166,800	2,147,700				
事業費(b)(円)			1,449,000	1,449,000				
うち一般財源			1,449,000	409,000				
職員給与費(c)(円)			717,800	698,700				
人役・職員(人)			0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）					12			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	ヘリポート用の誘導灯を実際に使用できる状態にする。	③取り組みの課題	災害発生直後、暗夜において最小限の人員で設置することが必要になることもある。
②今年度(H25)に実施した取り組み	ヘリポート用の誘導灯購入に際し、設置訓練を行った。	④今後の改善計画	消防職員等による訓練を実施し、夜間においても迅速かつ的確に設置・運用できるよう習熟を図る。